校長先生の部屋だより

哲学ルームだより

この「哲学ルーム」は、生徒、先生の区別なく、共に学校スローガンである「人間を学ぶ」空間です。

今月のテーマは「すべての存在の根本は何か」で

今日は１年生がたくさん訪ねてきました。女子も一人興味深そうに参加してくれました。生徒たちはなかなか無限ループから抜け出せないようです。

―前回はすべての存在の根本が物質だとする説と、そうした唯物論も論である以上人間が考えたものであり、人間の方が先だとする説に分かれたね。

Ａ：物質は人間が存在しなくてもあると思います。

Ｂ：でもそれを証明したのは人間だから・・・

―では「人間」はどこから出て来たのだろう。もし、これを両親というように説明すると、どんどん遡って、生命の誕生までいって、そうして宇宙の始まりまでいくことになる。そうしてこの説を考えているのは人間だということになって、またぐるぐる周りになってしまう。どう考えたらよいのだろう。

Ｃ：偶然生まれたのだと思います。ほとんどあり得ないような小さな確率で生命が生まれたんだと思います。

―だからさ。その生命はどこから生まれたんだい？

Ｄ：ゼロから生まれたんじゃないと思います。ビッグバンの前にも別の宇宙があったんだと思います。その宇宙の前にもまた別の宇宙があって、ずっと繰り返すんだと思います。

―それを考えているのは誰かな？

Ｅ：うーん。これは無限ループになる問題なのかもしれない。
Ｆ：人間と物質が同時に生まれたと考えたらどうかな。

―どういうこと？

Ｆ：人間も物質も何もないところ、ゼロから生まれたと考えるんです。

―残念。今日も時間切れ。頭がおかしくならない程度に考えてまたおいで。

pixta.jp - 13848778